

Title	心の世界を絵本に学ぶ実施結果：アンケート集計結果の概要（総合研究所 News：2013 年度 聖学院大学総合研究所：カウンセリングシンポジウム）
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.23-No.2, 2013.12：41-44
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=5031
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

2013年度 聖学院大学総合研究所
カウンセリングシンポジウム
心の世界を絵本に学ぶ
実施結果—アンケート集計結果の概要



(左から) 窪寺教授 堀講師 藤掛准教授

今回は、絵本を手がかりに心や魂の世界を学びます。絵本には思いがけない設定やストーリーがありますが、そこには、心や魂の深いあらわれをみることができます。いのちと死。別れ。自立と援助。様々な世界をご一緒に味わいませんか。

日時：2013年9月27日(金)14:00～16:30

場所：聖学院大学ヴェリタス館 教授会室

【プログラム】

開会挨拶

阿久戸光晴（聖学院大学理事長、院長、学長）

講演Ⅰ「葉っぱのフレディ」

窪寺俊之（聖学院大学大学院教授、同大学人間福祉学部こども心理学科長）

講演Ⅱ「さよならボート」

堀 肇（聖学院大学大学院非常勤講師、臨床牧会カウンセラー・スーパーバイザー）

講演Ⅲ「ちいさなきいろいかさ」

藤掛 明（聖学院大学大学院准教授、同大学人間福祉学部こども心理学科准教授）

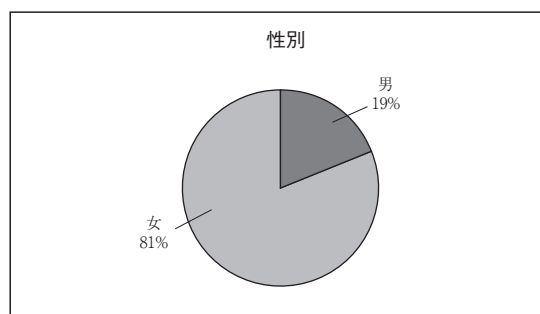
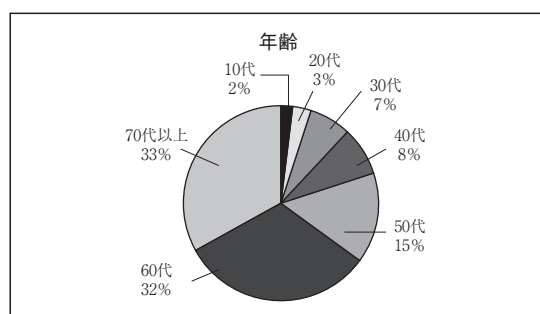
質疑応答

閉会

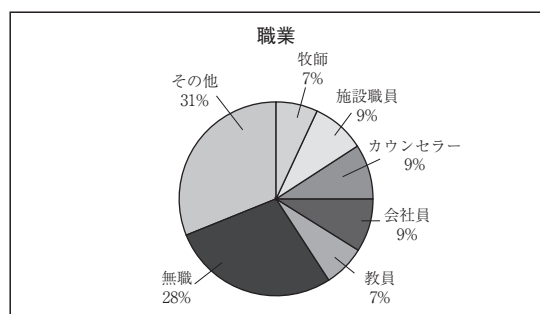
【結果の概要】

- ・参加者は102名。内、アンケート回答者は62名。
- ・講演について、「良い」が講演Ⅰでは90%、講演Ⅱは95%、講演Ⅲは93%とそれぞれ大変高い評価を得た。

1. プロフィール

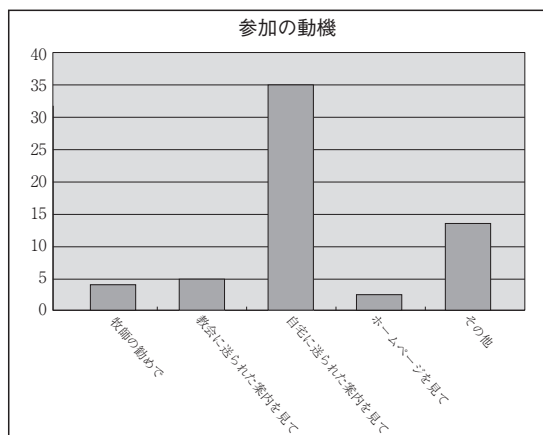


* 回答者の年齢は、「70代以上」33%と最も多く、次に「60代」が32%、「50代」15%となった。
性別は、女性が81%と大半を占めた。



* 職業として、「施設職員」「会社員」「カウンセラー」が共に9%だった。
「その他」として、「事務職」「医者」「主婦」。

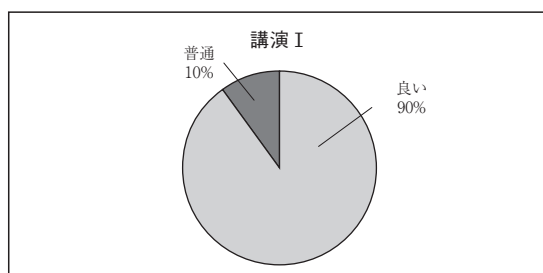
2. 参加の動機



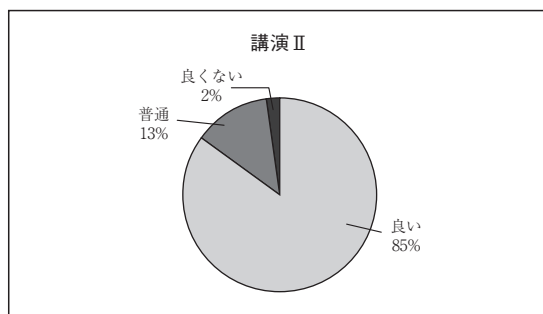
*参加の動機は、「自宅に送られた案内を見て」が最も多かった。

「友人・知人の勧め」「先生の紹介」「家族の勧め」「職場で知って」など。

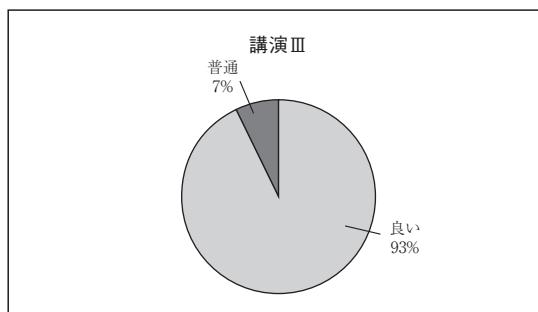
3. 講演Ⅰ



4. 講演Ⅱ



5. 講演Ⅲ



今後の講演会についての希望

- ・三名の先生方それぞれに大変深いお話で、短時間だったのでもっともっとお話をお聞きしたいと思いました。絵本の世界を通して子どもだけでなく、大人である私たちも多くの事を語られていること、本当にその通りだと感じました。
- ・教会の女性会で絵本を取り上げて、皆さんと話し合う機会があり、今日は深く広く信仰を含めて視野を広げて、心を洞察できてよかったです。ありがとうございました。
- ・今回は死生観や援助というテーマが主でしたが、今後は倫理観や嫉妬など、あまり直視したくないテーマについての講義もお聞きしてみたいです。
- ・絵本のストーリーと共に、絵そのものについて描かれた画家や画法についてのお話も聞いてみたい。
- ・ご案内を頂いてありがとうございます。精神障害を持っている方の支援をする内容の講演会を望みます。特に比較的若い方、20代後半～40代前半の方のふれ合い方について。
- ・最近は、「いのち」について考えることが大変多く、特にホスピスケアなどは大変重要で参考になるものです。また、子どもたちの心のケアの仕方には苦労がありますが、「心」についての講演も大変参考になり、よいものです。
- ・とても興味深い企画をありがとうございます。絵本作家の方と心の専門家の方が対談のようなスタイルで企画していただけたらと考えました。
- ・このような学びの時を続けてほしい。いつも興味深いテーマで開かれていると思っています。
- ・スピリチュアルの講演会。絵本をもう一度開催

してほしい。

- ・とても良かったので、このような講演会をお願いしたい。
- ・グリーフケアとしてのスピリチュアルケアについて。
- ・大人のための絵本に学ぶ。
- ・子ども関係のことについて。
- ・ホスピスや絵本について。
- ・介護に関する講演会。
- ・今回のような講演会をお願いします。
- ・心のケアについて（心の病気の方のケア）。
- ・セルフケアについて。
- ・参加させていただくことがただただ感謝です。
- ・講演会の都度知らせたいです。
- ・認知症の人との接し方（改善するのに役立つ）。
- ・自殺に関して（自殺は殺人ではないのか？）。
- ・「心の世界を絵本に学ぶ」パートⅢをお願いします。
- ・高齢者を対象にしたカウンセリングなど。

自由意見

- ・本や映画、物語（story）はとても好きです。今までと違った受けとめ方が出来るようになれそうです。楽しいだけでなく深い読み方が出来ることに、改めて気づくことが出来ました。
- ・堀先生、すばらしい絵本を頂戴しました。ありがとうございます。実は、このセミナーに一緒に来ようとしていた友人が、今週日曜日に実のお父様を急に亡くされ、今日は一人で参りました。急なことでしたので、あとになって、深い悲しみが襲ってくるのではないかと思います。彼女の帰って来るのを待っている状態です。あつかましく絵本を頂いたのは、彼女に届けたいと思ったので……。本当にありがとうございます。
- ・大変内容が充実しており、これからの歩みに参考になりました。また、このような絵本からのセミナーをお願いします。
- ・大変楽しい時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございます。人生 3 度目、自分のために絵本を読んでいきたいと思います。
- ・子どもが小さかった頃に読み聞かせていた絵本を、自分のために読み返してみようと思いました。
- ・少子・高齢化時代で、いま、子育てについて行政も力を入れる時代になりました。長崎の童話館のコンセプトにあるように、絵本のある子育てが大切であるように思う。鎌倉雪ノ下教会では、新しい伝道のあり方として、子育ての家庭に目を向けて 0 ～ 6 歳の子どもも呼びかけています。
- ・学べたことに感謝します。ありがとうございます。知って読むのと、全く知識を持たずに読むのでは、伝わり方が違うと思います。3 冊の絵本を読んで参加したことは良かったと思っています。
- ・教会で絵本についての勉強会を始めたところなので、とても参考になりました。時々こうした機会に色々な絵本を紹介していただけるとうれしいです。
- ・全体を通して、絵本の言葉、絵、共にほのぼのと、おもしろく、深い心があるのだと思いました。
- ・子どものグリーフケアが難しく、自分の子どもにも出来ていなかったことが悔やまれ、今後このような絵本があれば、参考にしたいと思いました。
- ・絵本を大人が、自分自身のために読むと良い。というところに新しい世界が開かれた気がします。
- ・自分自身の子どもの頃読んだ本を思い出し、幼い心はとり戻せるのかと先生方の話に聞き入りました。ありがとうございます。
- ・自分の内面と向き合うためのもの、という視点で、絵本や小説や映画などというものは、他者との対話と、自問自答との間にあるものなのではないかと感じました。何かと何かの間に存在するということは、それだけで安心が得られますし、貴重な存在だと思います。
- ・講演Ⅲで、「援助者にあわせて自由に広がる」はほんとです。
 - ①自分にとって無理なほど働いてしまう。
 - ②傘の魔法がきかなくても一獄中の中の人、支援する人も新たなやり方をみつけていく。互いに信頼関係が出来ていく。支援する者が獄中



3 講師による講演

の人によって、育てられていく。

- ・絵本の効用について、そして、生命、死、自分について、お三方のお話がバランスよく、楽しく拝聴しました。
- ・絵本に向き合う姿勢が各々でよかった。質疑応答が時間を多く求められていて、質問への答えが更に深まりよくわかりました。とても良い時間でした。
堀先生がグリーンの方々に本のプレゼントをされ、そのお心のやさしい温かさにホッとしました。
- ・今日の講演は時間のたつのを忘れるほど「魅力的」なお話で、これからの自分の生き方について、考えてみるきっかけになりました。
- ・いつも、シンポジウムを楽しみにしています。必要な時、必要な講演が備えられていて、感謝です。
- ・絵本には言葉の奥に深い意味があるのだということがわかった。そしておもしろいと思った。絵本の読み方を教えていただきました。
- ・窪寺先生のお話は、「フレディー」の貴い価値について学ぶことが出来ました。堀先生のお話は、子ども（そして大人も）に必要な愛の大切さを学ばせていただきました。藤掛先生のお話は、43才に経験された転職とその後の、先生の心のお話がとても印象深く感じました。また絵のかわいさがうれしかったです。
- ・絵本の中に深い心の世界があることを改めて知

りました。大人の方々にもっと絵本を読んでいただきたいなと思いました。私も読み深めていきたいと思います。いのちと死について考えることができてよかったと思います。

- ・かつて幼児教育に携わってきた者として、興味あるテーマでしたが、それぞれの先生方のお話、色々と考えさせられるものがあり、感謝でした。
- ・自分が学び、生活や仕事に役に立つと良い結果を生み出せると思いました。幼い子どもたちのこころの成長はとても大事ですし、将来の日本の希望もここにあるのではと思います。
- ・地域の家庭文庫で読み聞かせをしています。その中で私自身が励まされ、慰められることが多いです。今日紹介していただいた絵本はどれも心に響くものです。松居直さんは「子どもはことばを食べて成長する」といっておられます。これからも絵本との出会いを楽しみたいと思われされました。亡くなられた方に送る絵本としては「わすれられないおくりもの」スーザンバレイ。あなぐま君からの教えが残されたものの中に残っているという内容の絵本もおすすめです。
- ・藤掛先生「映画にみるカウンセリングマインド」を再び開催してくれたらうれしいです。「実在の人物」の映画なんてどうですか？
- ・各先生方のご性格や特徴が浮かびだし、楽しく学びました。3 回学ぶ絵本も、なるほどと身に沁みて味わいました。
- ・いろいろと考えさせられました。良い時間となりました。ありがとうございました。
- ・大変おもしろく、勉強になりました。今後の人生の参考になった。
- ・今後も研究所さんの講演には期待しております。
- ・いつも楽しみにしています。
- ・豊かな学びができました。
- ・考えるところ多しーよかった。
- ・ありがとうございました。
- ・勤務時間がゆるす限り、出席したいと思います。